

[高吐]FEC 75(術前、術後、進行・再発)療法

外科 管理番号 D48

処方医:

適応: 乳がん(術前、術後 進行・再発)

3週を1コースとして4~6コース繰り返す

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
エピルピシン	●																					●
エンドキサン	●																					●
フルオウラシル	●																					●

身長: \_\_\_\_\_ cm 体重: \_\_\_\_\_ kg 体表面積 \_\_\_\_\_ m<sup>2</sup>

[投与スケジュール] ( \_\_\_\_\_ クール目)

心電図チェック(投与毎)

Day1( 月 日)

本管		側管	
薬剤名	投与量	薬剤名	投与量
生食250mL [2時間15分 点滴静注]	1瓶	アロキシ点滴静注パック0.75mg	1袋
		デキサート注 [30分 点滴静注]	9.9mg
		生食100mL	1瓶
		塩酸エピルピシン注 75mg/m <sup>2</sup> [30分 点滴静注][壊死]	
		生食250mL	1袋
		エンドキサン注 500mg/m <sup>2</sup> [1時間 点滴静注][炎症]	
		生食50mL	1袋
		フルオウラシル 500 mg/m <sup>2</sup> [15分 点滴静注][炎症]	
		生食20mL [静注]	1管

DAY2( 月 日)~3( 月 日)

薬剤名	投与量	
デカドロン錠	8mg	1x朝食後

[DLF]

エンドキサン

骨髄抑制および出血性膀胱炎

塩酸エピルピシン

心毒性および骨髄抑制

フルオウラシル

白血球減少 口内炎、下痢

エンドキサン

(今回の投与量) (累積投与量)

\_\_\_\_\_ mg \_\_\_\_\_ mg

塩酸エピルピシン

(今回の投与量) (累積投与量)

\_\_\_\_\_ mg \_\_\_\_\_ mg

フルオウラシル

(今回の投与量) (累積投与量)

\_\_\_\_\_ mg \_\_\_\_\_ mg

[適正使用基準]

- 出血性膀胱炎がない
- 口内炎がない
- ペントスタチンと併用していない
- 重症感染症またはその疑いがない
- アントラサイクリン系の累積投与量に注意すること(総投与量が550mg/m<sup>2</sup>以下である)
- TS-1が投与されていないまたは投与中止後7日以上経っている
- 肝障害がない
- 腎障害がない
- 胸水・腹水等がない
- 心疾患の既往がない
- 心機能の評価
  - 不整脈がなく、心電図も非特異的T波変化までである。
  - 心駆出率(ejection fraction;EF)が十分である(50%以上)
- PS(Performance Status)が0~2である
- 生理機能が十分に保持され、下の基準を満たす。

血液一般検査	WBC (/μL)	4000 ≤	
	Neut (/μL)	1600 ≤	
	PLT (/μL)	15万 ≤	
	HGB (/μL)	11.0 ≤	
血清生化学検査	GOT (IU/L)	≤40	
	GPT (IU/L)	≤35	
	Tbil (mg/dL)	≤1.2	
	BUN (mg/dL)	≤20	
	Cr (mg/dL)	≤1.1	

エンドキサン 肝腎障害時用量調節

塩酸エピルビシン 肝障害時用量調節  
フルオロウラシル 肝障害時用量調節

[肝・腎機能を考慮した投与量の調節]

エンドキサン

TBil	<1.5	1.5~3.0	3.0~5.0	
GOT	<60	60~180	180<	
投与量	100%	50%	25%	中止

Ccr>50	Ccr10~50	Ccr<10
減量なし	25%減量	50%減量

エピルビシン

TBIL	または AST	EPI投与量
1. 2~3	または2~4ULN	50%減量
3. 1以上	4ULN以上	75%減量

[フルオロウラシル]

TBIL <5	100%
TBIL >5	中止

[DLFを除く重大な副作用]

《エンドキサン》

- ・ショック、アナフィラキシー様症状〔血圧低下・呼吸困難・喘鳴・蕁麻疹・不快感等〕
- ・イレウス、胃腸出血〔腹痛・吐血・下血・腹部膨満感等〕
- ・間質性肺炎、肺繊維症〔咳・息切れ・呼吸困難・発熱等〕
- ・心筋障害、心不全〔胸痛・呼吸困難・むくみ等〕
- ・皮膚粘膜症候群、中毒性表皮壊死症〔紅斑・発熱・関節痛・下痢等〕
- ・抗利尿ホルモン不適合分泌症候群(SIADH)〔むくみ・痙攣・意識障害等〕

《塩酸エピルビシン》

- ・ショック〔呼吸不全・血圧低下・チアノーゼ等〕
- ・萎縮膀胱(膀胱内注入時)

《フルオロウラシル》

- ・脱水症状〔激しい下痢等〕
- ・出血性腸炎、虚血性腸炎、壊死性腸炎〔激しい腹痛・下痢等〕
- ・ショック、アナフィラキシー様症状〔発疹・チアノーゼ・呼吸困難・血圧低下等〕
- ・白質脳症〔歩行時のふらつき・四肢末端のしびれ感・舌のもつれ感等〕
- ・うつ血性心不全、心筋梗塞、安静狭心症〔疲労感・息苦しさ・むくみ・胸痛・胸部圧迫感等〕
- ・急性腎不全〔むくみ・尿量低下等〕
- ・間質性肺炎〔咳・息切れ・呼吸困難・発熱等〕
- ・肝機能障害・黄疸、肝不全〔食欲不振・倦怠感・黄疸・検査値異常等〕
- ・消化管潰瘍〔食欲不振・腹痛・吐血・下血等〕
- ・急性膵炎〔腹痛・腰背痛・発熱・嘔吐・血清アミラーゼ値上昇等〕
- ・意識障害を伴う高アンモニア血症
- ・肝・胆道障害(胆嚢炎、胆管壊死、肝実質障害等) \* 肝動脈内投与時〔腹痛・発熱・黄疸等〕
- ・手足症候群〔手掌・足趾の紅斑・疼痛性発赤腫脹・知覚過敏等〕
- ・臭覚障害、嗅覚脱失(長期投与症例に多い)

ート)

ブライミング

ブライミング